



球陽高校
SSH 通信

科学上達

発行: 沖縄県立球陽高等学校 SSH 研究開発部
Vol.216

10月のSSH活動

SSH 探究 I ローテーション
SSH 探究 II 探究活動開始

科学英語スタート
球陽 SSH 講座

球陽 SSH 講座 (地学) 報告



10月25日(水)放課後ラボ室にて、琉球大学 理学部・教授 古川 雅英 先生を講師にお迎えして、球陽 SSH 講座が行われました。

今回の講義のテーマは『クジラの目を見た琉球弧の地質 沖縄の海を鯨瞰する』。

プレートテクトニクスのお話でした。まず、基本的なところから海溝、海嶺・トランスフォーム断層を図や、航空写真を用いて解説いただき、少し複雑になった場合を皆で考えていきました。

日本周辺ではユーラシアプレート、北米プレート、太平洋プレート、フィリピン海プレートがあるので複雑です。沖縄周辺では琉球海溝があります。フィリピン海プレートがユーラシアプレートに沈み込んでいるそうです。

海底調査ばかりでなく、化石から数十万年前の地球上の大陸の状況を知る上で大切な情報です。宮古島で発見されたゾウの化石は何を意味しているのでしょうか。琉球列島の成り立ちを、地質学的考察や、生物学的考察があるそうで、おもしろいと思いました。

